

## 会 議 録

会 議 名	令和元年度（2019年度）八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 第5回計画策定（子ども）部会	
日 時	令和元年（2019年）9月19日（木）午前10時00分～正午	
場 所	八王子市役所 7階701会議室	
出席者氏名	委 員	井上仁部会長、大宝院清孝副部会長、岡崎理香委員、野中真理子委員、 森直美委員、山本由佳理委員 (部会長・副部会長、以下五十音順)
	関 連 所 管	鳥越大横保健福祉センター館長
	事 務 局	澤田子どものしあわせ課長、福田子育て支援課長、小池児童青少年課長、 中山子ども・若者支援担当課長、小野主査、吉岡主査ほか
欠 席 者 氏 名	荒井容子委員、石田健太郎委員	
議 題	議事 1 (仮称) 子ども・若者育成支援計画素案(案)の検討	
公開・非公開の別	公開	
非 公 開 理 由		
傍 聴 人 の 数	なし	
配 付 資 料 名	別紙のとおり	
会 議 の 内 容	別紙のとおり	
会 議 録 署 名 人	令和元年（2019年）11月27日 大宝院 清孝	

(別紙) 配付資料

- 子どもミライ会議の開催報告
- 計画の概念図
- 施策体系案
- 「(仮称)八王子市子ども・若者育成支援計画」基本方針1～4(案)

## (別紙) 会議の内容

### 【澤田子どものしあわせ課長】

定刻になりましたので、令和元年度（2019年度）八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会第5回計画策定（子ども）部会を開催いたします。委員8名中6名出席で過半数となりますので、開催要件を満たしております。はじめに子どもミライ会議についての報告です。

### ■子どもミライ会議の開催報告

#### 【事務局】

（資料1「子どもミライ会議の開催報告」について説明）

#### 【井上部会長】

公園については毎年子どもから声が挙がっており、子どもの声に対応する市の姿勢や説明責任が求められている。子どもたちからの具体的な提案に対しても、提案内容そのものに「既の実施しています。」などと答えるのではなく、子どものまちに対する考えや気持ちとして受け止めてほしい。

#### 【事務局】

市長や教育長の回答の中には、「わんわんパトロールについて、既に取り組んでいる地域がありますが、良い取組なので今後広めていきたい」と回答したものや「中学校と高校との連携についても広めていきたい」と回答しているものもある。

#### 【井上部会長】

そこからさらに、子どもの意見を計画にどう落とし込んでいくかが問われているのではないかと。これだけ貴重な提案が挙げられているので、課題がある場合は受け止める大人側が知恵を出して補い、市として活かしていきたい。

子どもミライ会議は、市制100周年記念事業として実施した「子どもミライフォーラム」からの継続しており、子どもたちの提案も具体的になっている。計画の中で、コラムとして掲載するなど、大切にしてほしい。また、学生リーダーの意見も次世代育成に活かしてほしい。

#### 【大室院副部会長】

子ども企画委員から毎年参加し、今回も学生リーダーとして参加している方が、この活動を続けてきた理由として「提案が実現されることがうれしくて、何度もチャレンジした。」と発言していた。子どもの声が受け止められ、市政にきちんと反映されたという実感を持つことは、とても大切だと思う。小学校では、6年生の授業で、八王子市の取組として子どもミライ会議を紹介している。

今回提案のあった犬の散歩している方を対象とした防犯パトロールは具体的で大変良いと思った。既に「わんわんパトロール」として一部の町会で実施されており、それを広めていこうという話であったが、提案内容が多少変わっても、子どものアイデアが活かされて実現できたり、計画に掲載されたり、広まったりすれば、子ども企画委員はもちろん、広く子どもたちが「自分たちでつくる八王子」を実感できるはずである。市政に反映された、という足跡は

必要と考える。

**【井上部会長】**

子どもミライフォーラム、ビジョンフォォーラムで子どもからの提言を受け、それをどのように具現化したか、意見を受け止めた大人の責任として、一緒にまちづくりを考える姿勢が必要。計画に明示するとともに、分科会としても答申に盛り込みたい。

**【森委員】**

「商工業によって栄え、交通が便利なまち」の提言に基づいて、グルメフェスを提案したグループとの意見交換に参加した。子どもたちは、楽しみながら実現していくことを大事にしており、そのような子どもの「気持ち」も大切に育んでいきたいと感じた。

**【井上部会長】**

「商工業によって栄え、交通が便利なまち」と言うと、私たちは、子ども育成計画からは外れるものと思ってしまうがちであるが、子どもは八王子のまち全体を見ている。

**【野中委員】**

私は、高尾山へのツアーを提案したグループの意見交換に参加した。子どもの提案に対する市の回答では、実施できない理由を述べており、大人向けの答弁内容だったと感じている。もっと子どもたちの夢を育むような答え方だと良いと思った。

意見発表の機会は、回を重ねており、子どもの意見がどう市政に反映され採択されたか、子どもに戻していかないといけない。子どもへのフィードバックの方法を考え、子どもたちが「実現した」という実感が持てるよう工夫をしてほしい。「言ってもだめなんだ。」と子どもが感じることがないようにして、継続されていくことを望む。

**【岡崎委員】**

次期計画は、若者施策だけではなく、子どもミライフォーラムの提言を受け、「子どもの参画」も目玉となると思っている。これまでどおりに意見発表の場を確保していくだけではなく、「参画の充実」が柱になる。子どもは参画したがっており、自分たちの意見が実現することは八王子への愛着につながる。その流れでリーダーも生まれ、まちの未来がつくられ、好循環が生まれていく。やり方を再考し、子どもの意見表明を、もっと進歩させてほしい。

**【井上部会長】**

市制 100 周年の子どもミライフォーラム、ビジョンフォォーラムも含めて、子どもの意見を計画の中に明示し具現化する、ということを意識した次期計画にしていきましょう。

やり方に関しては、現在イベント的になっているが、関係者を集めてシンポジウム形式にしてはどうか。例えば児童公園がどう使われているか、なぜ子どもからこのような意見が出るのか、大人が丁寧に確認をしていくことが必要である。

**■（仮称）子ども・若者育成支援計画素案（案）の検討**

**【事務局】**

（資料 2 「計画の概念図」について説明）

**【井上部会長】**

次期計画は「子ども・若者育成支援計画」であるので、計画の目指すものは「子ども・若者にやさしいまち」ではないか。基本方針や、参画の推進などの各施策についても、それぞれ「子ども・若者」となるのではないか。

**【岡崎委員】**

参画については、若者の年齢にもよるが、選挙権を持つ年齢も含まれることから、整理が必要である。

**【井上部会長】**

その点は以前も議論になったところであり、一つひとつ整理をする必要がある。

**【中山子ども・若者支援担当課長】**

子ども、若者はつながっているという視点で次期計画を策定しており、計画の目指すものについては「子ども・若者にやさしいまち」に修正する。一方で、基本方針、基本施策については、義務教育以降の若者を対象とした支援施策が子ども施策に混ざると、再掲ばかり多くなり、また、次期計画においては新たに若者施策を体系化して示していく、という意図もあるため、子ども施策と若者施策を分けている。その点についてはご理解いただきたい。基本方針は分かるが、一体としてつながって施策を展開する。なお、参画の推進に関しては、子ども、若者ともに必要であると考えている。

**【井上部会長】**

基本方針、基本施策に関しては、それで良い。

**【岡崎委員】**

今日は、若者支援施策の体系図は見られないのか。

**【中山子ども・若者支援担当課長】**

前回の計画策定（子ども・若者）合同部会の意見を踏まえて、来週の次回若者部会で検討し、次回の分科会でお示しする。本日の部会では、若者施策に関して意見があれば出していただき、次回の若者部会で事務局から伝えて議論をする。

**【井上部会長】**

本日は子ども・子育て支援施策に関して検討をする。

**【事務局】**

（資料3「施策体系案」、資料4「(仮称)八王子市子ども・若者育成支援計画」基本方針1～4)について説明)

**【井上部会長】**

「基本施策1 子どもの権利を大切にすまちづくりの推進」については、検討・確保・設置等の記載のある取組は、いつまでに行うのか、スケジュールも示してほしい。広報についても、具体的に何をするか示すことが必要。

「基本施策2 子どもの生きる力を育む遊びや体験の充実」については、現状と課題に子どもミライ会議における子どもたちの意見を書いてもらいたい。

**【岡崎委員】**

文章やタイトルが硬い気がするが、このままか。

【井上部会長】

現行計画は「すくすく☆八王子」という愛称が付いたが、このような点も分科会で議論が必要である。

【澤田子どものしあわせ課長】

まだ案の段階のため、このままということはない。本日の意見も反映して修正していく。

【岡崎委員】

「充実」「推進」などで止めるのではなく、やさしい表現にしてほしい。

【井上部会長】

市民に分かりやすい表現にすることは重要である。

「基本施策 3 乳幼児期の教育・保育の質の向上」については、「スタートカリキュラム」という言葉は説明が必要。ガイドラインについては、具体的な内容が分かるように。

「基本施策 4 若者期へとつなぐ健やかな育ちの支援」には、基本施策 1 の青少年リーダー育成の再掲が必要と考える。

「基本施策 7 子育て家庭への支援」の教育・保育の無償化に関しては、もう一步踏み込んで、もっと八王子らしさを出したり、あり方を含めて掲載してほしい。

「基本施策 8 身近な場所での相談・居場所の充実」については、八王子版ネウボラが出てこないが、相談体制に関わる施策であり、こちらにも再掲が必要ではないか。

「基本施策 9 共に子育てを楽しむまちづくりの推進」の子ども食堂については、設置推進と活動支援の違いを分かりやすく記載するように。無料学習塾は学習支援であるため、居場所とは分けて掲載してはいいかがか。

全体として、新規、充実の取組が分かりやすいよう工夫して記載を。

「基本施策 12 親子が安全・安心に暮らせるまちづくり」の防犯対策については、子どもの提案を具体的にに入れてはどうか。施策としても、呼びかけしているだけでは足りない。

【岡崎委員】

連携と書かれていても、その中身が見えてこない。

【井上部会長】

連携をマネジメントする所管がどのようにつなぐのか、具体的に示してほしい。

「基本施策 13 児童虐待防止のための支援体制の充実」については、市として何をやるかが分かりづらいと感じる。項目としては良いが、国の施策を並べるだけではなく、具体的に何をやるのか。例えば、社会的養護が必要な子どもへの支援に関しては、市の努力義務とされているところまで踏み込んで取り組むのか。退所後の支援は具体策が何かあるのか。連携についても具体的に示してほしい。

「基本施策 14 障害児支援の充実」には幼児教育センター設置についても盛り込むべきと考える。

「基本施策 15 ひとり親家庭への支援の充実」は、基本施策 13 と同様、国の事業のみ場合は、掲載のしかたに検討が必要。

**【中山子ども・若者支援担当課長】**

国の事業の掲載有無については、市民にとっての分かりやすさも配慮して判断することが必要だと考えている。若者支援施策に関しては、都や国の取組でも、本市の若者の支援に有効なものは掲載する。

**【井上部会長】**

定型的な事業はさらっと掲載し、市が力を入れて取り組んでいく事業は丁寧に書くなど、八王子市としての意思が見えるよう、組み立てを考えてもらいたい。

**【中山子ども・若者支援担当課長】**

計画書には「主な取組」「関連する取組」で差別化して掲載するなど、工夫をする。

**【井上部会長】**

若者支援施策については新規の施策となるため、全体像が見えたほうが良いが、子ども・子育て支援施策については第4次計画になることから、整理が必要。総合相談窓口や地域との連携など、八王子型の取組が見えるようにすべき。

「基本施策16 子どもの貧困対策の推進」については、本計画が貧困対策計画として位置付けることを表明する必要があるのではないか。貧困対策、外国人子育て家庭への支援とも、先ほどのひとり親家庭への支援と同様、八王子型が見えるよう、総合相談窓口や地域との連携、ボーダーレスでの支援の取組など、整理をしてほしい。計画であるため、今実施していることを掲載するだけでなく、今後の見通しやビジョンが見えるようにする必要がある。

**【岡崎委員】**

施策の内容を具体的に書いてほしい。

**【事務局】**

庁内各所管からの回答を基に、詳細が必要な施策は記載をしていく。

**【井上部会長】**

今のままだと、市の取組が見えづらい。考え方は分かったが、具体的にどんなことをするのか、5年間の目安も併せて示してもらいたい。

**【岡崎委員】**

重点施策の位置付けは。

**【事務局】**

これまでの議論をふまえて、記載していく。

**【井上部会長】**

計画全体が、妊娠期から若者期までの切れ目ない支援、という性格を帯び、これに関わる施策が重点となってくる。また、子どもを守ることにしても重点施策として、踏み込んで計画に書いていく必要がある。全体としては良いが、新規事業の頭出しと、これから八王子が目指す未来像を具体的にを見せていきましょう。

では本日の会議は以上で終了する。次回は10月15日の分科会となる。